



札幌市長
上田文雄の

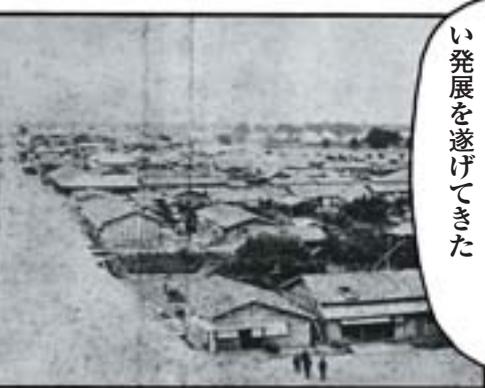
新札幌 まちづくり 白書

「市民参加」と「対話」を
重視した市政運営へ

この街で暮らす市民一人ひとりが、いつも明るく元気な笑顔で過ごせる、そんなまちづくりを実現していきたい——。そうした思いを胸に、今年6月、186万都市のかじ取り役に就いた上田市長。今月の特集では、7月に発表した施政方針「さっぽろ元気ビジョン」を基に、上田市長の市政運営の考え方や、この秋からスタートする具体的な取り組みなどを紹介します。



しかし、最近では、長引く景気低迷の影響もあり、街にやや元気がないように思える



明治14年ころの南1条通

突然だが、同姓のよしみで教えてほしい。札幌の街は、この百年余りで、目覚ましい発展を遂げてきた

声の主は、『上田万平』。
明治4年、円山村（当時）に入植し、札幌の礎を築いた功労者だ

上田市長！

※「さわやかノーカーデー」の朝。まずは小さな一歩から」をモットーに、環境に優しい自転車通勤する上田市長。その途中に——



※市では交通混雑や大気汚染の防止のため、毎月5日と20日は、マイカーの抑制と、公共交通機関の利用を呼び掛けています。

これからどのようなまちづくりを進めていくのだ？



上田万平 (1841~1918)

百八十六万都市のかじ取り役となった上田市長

おお、あなたも、う・え・だ